学校番号	T0108

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３	年次	３
レポート	９通以上	スクーリング	６回以上	テスト	１回以上		
使用教科書	精選古典Ｂ　改訂版　（大修館書店）	副教材等	独自プリント等				

１ 担当者からのメッセージ

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・プリントは毎時間点検し、考査前にもそれまでの範囲のプリントを全て点検するので、板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

、２ 学習の到達目標

生徒が取り組みやすい、物語や徒然草などの随筆、また漢詩や故事などを読みこなすことを通じて、古文や漢文に触れる機会を増やし、それらのおもしろさに改めて気づかせる。学習内容を通信のレポートとして作成し振り返ることによって、より一層深く理解する態度を養う。

３ 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	出席状況 授業態度 記述の点検（プリント教材）	出席状況 記述の点検（プリント教材） 定期考査	行動の観察 記述の確認（プリント教材） 定期考査 小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期(4・5・6・7・9月)	随筆	教材: 徒然草 「家居のつきづきしく」 「世に語り伝ふること」 ・中世の随筆を読み、古人の思索と無常観を理解する。語句の意味、用法及び、文の構造を理解する。作者のものの見方、感じ方を理解し、「徒然草」の魅力をとらえる。	○	○	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。「徒然草」や兼好法師、また随筆文学に関心を持ち、理解を深めようとしている。作者のものの見方や感じ方、考え方を理解している。 b:話の主題を読み取っている。本文の構成を把握し、作者の論の進め方を理解している。語句や文法に注意して本文を現代語訳している。登場人物の心情を読み取っている。作者のものの見方や感じ方、考え方を理解している。住まいと人間の関係についての作者の考えを読み取っている。「虚言」の分析に見られる作者の人間観察力の鋭さに着目し、読み取っている。 c:基本的な助動詞や助詞の意味・用法や、係り結びを理解している。「徒然草」の内容や作者について、文学史的な理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	物語	教材: 源氏物語 「桐壺」 〈参考〉藤壺の入内 ・源氏物語を読み、展開や人物の心情を読み取る。語句の意味、用法及び、文の構造を理解する。それぞれの場面、登場人物の人間関係を性格につかみ微妙な心理の動きをたどる。	○	○	○	a:教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。「源氏物語」と紫式部について関心を持ち、理解を深めようとしている。 b：本文の構成を把握し、話の展開を理解している。語句や文法、敬語に注意し、脚注などを参考に本文を現代語訳している。登場人物の行動と心情を読み取っている。敬語の使い方から人物関係を正しく読み取っている。省略されている主語を的確に把握して本文を読んでいる。登場人物の人間関係を読み取っている。桐壺の更衣の人物像を読み取っている。桐壺の更衣に対する帝の寵愛の様子と周囲の反応を読み取っている。光源氏誕生の経緯とその境遇を読み取っている。藤壺が入内した経緯、周囲の反応、光源氏の思いを読み取っている。 c:平安時代の宮中の様子や、結婚形態、習慣などについて基本的な事柄を理解している。敬語の意味と用法、重要語句や助詞助動詞について整理し理解を深めている。「源氏物語」について、その構成や内容の概略、文学史的位置づけについて理解を深めている。平安時代の宮中の様子や作者を取り巻く人間関係について理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

後期（10.・11.・12.・1・2・3月）	随筆	教材: 枕草子 「この草紙、目に見え心に思うことを」 ・「枕草子」日記章段を読み宮廷生活の様子をとらえる。語句の意味、用法及び、文の構造を理解する。「枕草子」の成立の事情やその背景を知り、作者の基本的な姿勢について理解する。	○	○	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。「枕草子」や清少納言について関心を持ち、理解を深めようとしている。作者の人柄と感性の特性を理解し、機知に富んだ作品のおもしろさを読み取ろうとしている。 b：本文の構成を把握し、内容や話の展開を理解している。語句や文法に注意し、文脈に沿って本文を現代語訳している。作者のものの見方や感じ方考え方を理解している。敬語の種類や、誰の誰に対する敬意かを的確に読み取っている。平安時代の宮中の様子や女房たちの様子を読み取っている。この草紙について執筆の動機・内容・流布の原因を読み取り理解している。 c:重要古語や古典文法を理解している。古文を読解し鑑賞する力を高めている。 敬語の意味と用法について整理し理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	故事成語	教材: 故事成語 「助長 」 「画竜点睛」 ・故事を読み、そこから生まれた成語の意味を理解する。語句の意味、用法及び、文の構造を理解する。漢文訓読に習熟する。故事成語の意味の成り立ちを理解し、現在の用法に慣れる。叙述のおもしろさを味読する。	○	○	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。故事成語の叙述のおもしろさを味わっている。現代の生活の中で用いられている故事成語について認識を深め、自らの表現に生かそうとしている。 b：本文の内容を正しく把握している。故事成語が元の話からどのように生まれ使われるようになったか読み取っている。寓意を含む表現について作者の意図を正確に読み取っている。リズムや抑揚など、訓読の文体に注意し、繰り返し音読している。 c:漢文特有のきまりや基本的な句法への理解を深めている。それぞれの語が故事成語として現在どのような意味で用いられているかを理解している。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 読む能力　　c: 知識・理解